各市からの市政報告

資料１０

豊橋市	市政報告事項	豊橋市立くすのき特別支援学校の整備について
	要旨	東三河地域の特別支援教育環境の向上に貢献する「豊橋市立くすのき特別支援学校」の建設を進めます。併せて、知的障害特別支援学校の先端を目指した教育課程・教育活動の作成等ソフト面の整備についても進めていきます。（別添資料Ｐ５参照） --- ＜別添資料（平成26年度の重点施策）＞ １．産業振興とにぎわいの創出 ２．防災・減災対策の強化 ３．教育・文化の充実 ４．保健・医療・福祉の推進 ５．環境対策の推進
岡崎市	市政報告事項	・徳川家康公顕彰四百年記念事業推進事業 ・市制100周年記念事業推進事業
	要旨	平成27年（2015年）は徳川家康公薨去四百年、平成28年（2016年）は市制施行100周年という歴史的な節目の年となります。 平成26年度予算においては、「家康公生誕の地」であることを活かした観光事業の推進や市制施行100周年も視野に入れ、夢ある次の新しい岡崎に向けて徳川家康公顕彰四百年や市制施行100周年にふさわしい記念事業を実施します。 春の家康行列や夏の花火大会など、本市を代表する観光イベント事業を継続させていくとともに、徳川家康公顕彰四百年、岡崎市制100周年を周知するため、平成27年１月からさまざまなプレ事業を行います。その一つとして、新東名開通記念スポーツイベントとして、開通前の高速道路を利用して、マラソン、ウォーキング、サイクリングなどのスポーツイベントを実施します。 また、岡崎市の市街地を流れる乙川は、桜百選にも選ばれた桜並木、豊かな水面、広い河川敷、さらに良好な水質などに恵まれており、川沿いにそびえる岡崎城とあわせて、貴重な観光資源となっています。それらを活かすため、乙川リバーフロント地区の整備として、平成26年度はリバーフロント計画全体の基本計画を策定しつつ、新たな人道橋の架設、徳川四天王像の設置、岡崎公園や乙川河川緑地の再整備などにも取り組みます。
一宮市	市政報告事項	尾張一宮駅ビル内中央図書館について・新庁舎の稼動について
	要旨	中央図書館の利用状況、及び新庁舎の概要
春日井市	市政報告事項	春日井市総合保健医療センターの開設について
	要旨	保健予防事業や休日・平日夜間の急病診療を行っている現在の健康管理センターが老朽化・手狭になったこと等により、今後の超高齢社会に備え、30万都市にふさわしい市民の健康づくりと救急医療の新たな拠点施設として、市民病院の敷地内に整備を進めてきた「総合保健医療センター」が６月にオープンする。 比較的軽症の患者の初期対応を行う急病診療所と二次救急医療機関である市民病院の救急部が同一建物内に隣接する、全国的にも例を見ない取組が実現する。 新たに脳ドックや妊産婦ケア事業を実施するほか、女性専用スペース・女性スタッフによる乳がん、子宮がん検診を実施する。
豊川市	市政報告事項	豊川リレーマラソン２０１４について
	要旨	平成２６年６月１日（日）午前１０時から豊川市陸上競技場にて開催。 １チーム４人以上１０人以内で構成。 １周約２ｋｍのコースを計２１周し、４２．１９５ｋｍをタスキリレーして、チームで完走を目指す。 昨年度は３２８チーム、約２，６００名が参加。 今年度で４回目であり、昨年度までは外部団体が主催。 平成２６年度から市長マニフェスト事業として豊川市が主催。
津島市	市政報告事項	津島市と江南市で「愛知の広域観光キャンペーン　尾張２大藤まつり」の開催
	要旨	平成26年４月24日（木）～５月６日（火）の間、津島市の天王川公園と江南市曼陀羅寺公園の藤まつりを、昨年に引き続き足並み揃えて開催し、観光推進する。 関西・関東方面からも多くの来場者を見込んでいる。
	市政報告事項	在宅医療連携拠点推進事業
	要旨	平成24年度から行政が主体となり、在宅医療の推進にいち早く取り組んでいる 自分らしい暮らしを最後まで続けることができるよう「地域包括ケアシステム」の確立をめざし、関係者が一堂に会する場を設定して活動を広げていく。 ＊津島市在宅医療連携推進協議会 （１）地域支え合いワーキンググループ （２）在宅医療支援病床ワーキンググループ （３）「つながろまい津島」ＩＣＴワーキンググループ
	市政報告事項	開発許可の権限移譲
	要旨	都市計画法に係る開発許可等の事務及び租税特別措置法に係る優良宅地等の認定の事務について、従来愛知県尾張建設事務所にて行われていたが、平成26年４月１日から津島市役所計画建築課で行う。

碧南市	市政報告事項	碧南市の産業振興施策の取り組みについて(碧南版成長戦略「３本の矢」)
	要旨	◎第一の矢『大胆な規制緩和』 臨海部の工業専用地域について、緑地面積率を現行の２０％以上を５％以上に緩和して設備投資ができる環境をつくり、市外への移転流出防止を狙います。 ◎第二の矢『市内全企業の投資を誘発する新たな補助金制度の創設』 第一の矢『大胆な規制緩和』に合わせて、今後３年間の時限措置として、新規償却資産の総取得価額と、臨海部の工場に対しては、工場等を増改築した場合の固定資産総評価額の2,500万円以下は２％、2,500万円超は３％、上限1,000万円の補助制度を創設し、企業の投資を大きく後押しします。 また、県制度である愛知県新あいち創造産業立地補助金について、平成２６年度認定分をもって制度が終了した場合は、平成２７年度、２８年度の新規認定分について、市単独で継続します。 ◎第三の矢『ワンストップサービス窓口の設置』 企業活動に有益な情報収集や相談が一つの窓口で行うことができ、個々の企業の要望に応じて、きめこまやかなサービスの提供を行うことができるように組織の強化を図ります。
刈谷市	市政報告事項	特別支援学校の整備と技能五輪開催
	要旨	本市では平成３０年の開校を目指し、肢体不自由児のための特別支援学校を整備していくこととといたしました。この特別支援学校は、小垣江東小学校に併設し定員４０人、通学区域としては衣浦定住自立圏域（本市、知立市、高浜市、東浦町）を予定しています。 また、老朽化した第１学校給食センターを移設して、新たにこの特別支援学校に併設することとし、特別支援学校に通う子どもたちの状況に合わせた給食を調理できるよう整備していきます。 11月から12月にかけて愛知県で開催される技能五輪・アビリンピックあいち大会では、刈谷市産業振興センター、刈谷市体育館の2会場において機械組立てを始め4種目の競技が行われます。 トヨタグループ発祥の地、ものづくりのまち刈谷の名にかけて、選手の方々に気持ちよく技能を競っていただける環境を提供させていただきます。
豊田市	市政報告事項	【重点施策】 ・“暮らし満足都市”創造プログラム ・“環境先進都市”加速プログラム ・“ものづくり中枢都市”進化プログラム ・“命を守る安全・安心都市”実現プログラム 【主要事業・大会等の開催】 ・新・豊田市誕生１０周年プロジェクト事業 ・（仮）環境先進都市国際会議の開催 ・ダービーシャーへの高校生派遣 ・（仮）高等学校魅力発見フェスタの開催 ・低未利用地の活用
	要旨	・平成２５年度からスタートした「第７次豊田市総合計画後期実践計画」に掲げる“暮らし満足都市”の創造、“環境先進都市”の加速、“ものづくり中枢都市”の進化、“命を守る安全・安心都市”の実現の４つの重点戦略プログラムを推進するとともに、まちづくりの基礎となる市民生活を支える施策を着実に推進する。 ・市町村合併による新・豊田市の誕生から１０年目を迎えるにあたり、シンポジウムなどを開催して１０年のまちづくりを振り返り、将来を展望する。 ・平成２２年から５０の企業・団体で進めているスマートコミュニティ推進の取組及び豊田市の環境モデル都市の様々な取組を総括するため（仮）環境先進都市国際会議を開催する。 ・教育における新規事業として、市内高校から選抜された生徒の英国ダービーシャーへの派遣事業と、中学生を始め市民に市内公立高校の特色ある取組や魅力を紹介する（仮）高等学校魅力発見フェスタを行う。 ・市街化区域内の道路に接続していないために活用できない用地を有効活用するため、用地の取得者及び提供者に補助をすることで定住化を図る。
安城市	市政報告事項	高等学校等生徒国際交流支援事業及び大学生等留学支援事業の実施について
	要旨	国際的視野を持った人材の育成を目的として、平成26年度から高等学校等生徒の国際交流の支援と、大学生等の海外留学を促進する事業を実施する。 高等学校等生徒国際交流支援事業は、夏休み期間中にホームステイ及び寮宿泊で4日以上の語学研修プログラムを伴う事業が対象で、補助対象経費の2分の1（上限30万円）を補助する。 大学生等留学支援事業は、25歳以下の学生を対象に、3ヶ月以上の対象海外留学について、留学先の国・地域に応じて月額3万円から5万円の奨学金を支給する。支給期間は１年を限度とする。
西尾市	市政報告事項	愛知県観光交流サミット開催事業
	要旨	・合併により観光資源が豊富になった本市を会場にして、県内自治体や観光協会が観光振興策や観光課題を討議する第6回愛知県観光交流サミットを開催する。 ・開催時期は10月を予定している。
	市政報告事項	医師確保対策事業（医師確保奨学金貸与制度創設）
	要旨	・深刻な医師不足に窮している西尾市民病院の医師確保策として、新たに医師確保奨学金貸与制度創設する。 ・対象者は大学又は大学院に在籍する医学生で、西尾市民病院での２年間の臨床研修後、引き続き勤務する意思を有する方。 ・貸与金額は月額２５万円。貸与期間上限は大学生６年、大学院生４年間とする。

西尾市	市政報告事項	子育て支援事業（保育園・幼稚園関係）
	要旨	・保育園・幼稚園給食費無料化事業…子育て家庭に対する経済的負担を軽減するため、公立保育園や幼稚園において、保育料とは別に徴収している給食費を無料化する。（公立園については、給食費の徴収をしない。また、私立園については、公立園と同基準の給食費相当額を交付する。） ・保育園・幼稚園園庭芝生化事業…保育園や幼稚園の園庭を砂地から芝生化することにより、園児達が裸足で走り回ることができ、快適で安全な保育環境の実現を図る。（H23:1園、H24:3園、H25:4園の計8園で実施済。H26年度は4園において、専門家の指導を受け、保護者や地域の方の協力を得て実施予定。
蒲郡市	市政報告事項	ボートレース蒲郡（蒲郡競走場）の新スタンドオープンについて
	要旨	ボートレース蒲郡は、新スタンドが完成し、4月26日（土）にオープンします。皆様のご来場をお待ちしています。 新スタンドは、「海のまち・がまごおり」として、ヨットの帆やウッドデッキなどマリンリゾートをイメージした造りとレイアウトで、幅広い年代にご利用いただける施設です。 新スタンドは、次の３つをコンセプトとしています。 ①「コンパクトスタジアム」の実現 ②家族・同僚・恋人と楽しめる「エンタテイメント施設」 ③ひと、地域に優しい「光のスタジアム」 新スタンドの新システムの主なものは、次のとおりです。 ①キャッシュレス投票カード「e-じゃんカード」の導入 ②ロイヤルエリアと在籍投票システムの設置 ③屋外観覧席、スプラッシュゾーンの設置 ④ムーンライトガールの配置 ⑤レストラン、フードコートの充実
常滑市	市政報告事項	1. 市制６０周年記念事業の実施 2. 新市民病院の建設 3. 中部臨空都市における企業誘致の現況 4. アイアンマン７０．３セントレア知多・常滑ジャパンの開催
	要旨	1. 市制６０周年を記念して実施する特別記念事業等について 2. 平成２７年５月の開院に向けた、新市民病院の移転新築について 3. 中部臨空都市（空港島及び対岸部の地域開発用地）への企業誘致の現況について 4. アイアンマン７０．３セントレア知多・常滑ジャパンの２０１４年大会の開催概要について
江南市	市政報告事項	江南市制60周年について
	要旨	平成26年6月1日に、江南市は市制60周年を迎えます。「だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土」という、江南市が目差す地域社会のしくみを実現するために、この年を一層飛躍する年と位置づけ、市民の皆様との協働によるまちづくりに向けて、以下のような事業を市制60周年記念事業として実施してまいります。 ・愛知江南短期大学との包括的連携協定締結 ・市制60周年記念式典 ・テレビ愛知公開番組「開運！なんでも鑑定団　出張！なんでも鑑定団 in 江南」 ・愛岐少年軟式野球親善交流大会 ・大茶会
小牧市	市政報告事項	１．こども夢・チャレンジカップＵ－１２（小牧市長杯）開催 ２．第５９回愛知県消防操法大会開催 ３．地域ブランドサミット開催 ４．ブランドブック作成
	要旨	１．海外クラブチームの国内ジュニアサッカースクールの交流大会を、パークアリーナ小牧で５月５日（祝）に開催する。 ２．愛知県内の消防団が一堂に会し、消防技術を競う消防操法大会を、パークアリーナ小牧で８月９日（土）に開催する。 ３．全国有志自治体によって平成２４年１１月に発足した地域ブランドサミットを、９月６日（土）開催のこまき信長お月見まつりと同時に開催する。 ４．小牧市が持つ豊かな自然や歴史、文化、特産品などさまざまな地域資源を活用し、本市のブランドイメージを醸成するため、新たにブランドブックを作成した。
稲沢市	市政報告事項	新稲沢市民病院新築移転
	要旨	・平成21年9月に市長が新病院の建設を表明、平成24年7月に着工、平成26年6月に建物本体が完成予定。 ・平成26年9月に「竣工式」及び市民に向けた「内覧会」を予定。 ・平成26年11月「新病院」開院予定。

新城市	市政報告事項	①道の駅「もっくる新城」オープン ②DOS地域再生事業（アウトドアスポーツイベント）開催
	要旨	平成２６年度末に新東名高速道路が開通予定であり、新城ＩＣやパーキングエリアが設置されます。これらに伴い周辺地域において道路等の整備を進め、ＩＣ近隣には、道の駅「もっくる新城」をオープンいたします。また、DOS地域再生事業（アウトドアスポーツイベント）を開催し経済効果と雇用機会を作り地域の活性化を図ります。 道の駅「もっくる新城」・・・新城ＩＣ近隣にオープン予定。　高速道路利用者や一般道路利用者に休憩、飲食、地域産物の販売や交通情報を提供する場であるとともに奥三河地域の観光ハブステーションとして奥三河一円の観光情報を提供するなど、目的地施設として、観光周遊の中継施設としての利用を見込んでいます。 新城ラリー・・・昨年は２日間で４２，０００人の人出。（トヨタ自動車の豊田章男社長も出場）今年は１１月１日（土）、２日（日）開催予定。全日本選手権大会の一つであり選手権最後のレースである新城ラリーは毎年優勝が決まるまさに決戦の場となっています。
大府市	市政報告事項	「おおぶ文化交流の杜（ 愛称　allobu ）」の開館
	要旨	図書館と文化交流の複合施設「おおぶ文化交流の杜（ 愛称　allobu ）」が平成２６年７月１日より会館します。 この施設は、「誰もが、様々な知識や情報を得ることができ、質の高い文化・芸術に触れ、また、自ら創造・表現活動を行うことができる「新たな文化交流のシンボル施設」を基本理念としています。 なお、施設建設にあたっては、ＰＦＩ手法にて行っています。
知立市	市政報告事項	平成26年度　全国山・鉾・屋台保存連合会知立市大会の開催について
	要旨	日時　平成２６年５月２・３日 場所　ホテルクラウンパレス知立、知立リリオコンサートホール 主催　全国山・鉾・屋台保存連合会 内容　毎年５月２・３日にまちなかを壮麗な山車が練り歩き、知立神社にて山車の上で文楽・からくりを上演する伝統の祭礼「知立まつり」の開催に伴い「全国山・鉾・屋台保存連合会」の総会を予定。 国の文化財指定を受けた屋台等の保存団体による、祭り文化や山車保存についての研修や、後継者育成に関する講習会等が行われる。 知立市での総会には全国２９団体の代表者が参加予定。 この機会に、全国関係者に知立の山車の魅力や観光の見どころを伝える。
岩倉市	市政報告事項	デマンド交通事業
	要旨	平成２５年１０月から実証運行を開始しているデマンド交通事業について、本年１０月から本格運行に向けて運行方法等について、地域公共交通会議で協議を進めていく。
豊明市	市政報告事項	「豊明市太陽光発電屋根貸し事業」
	要旨	豊明市では、Ｃ○２削減や地球温暖化防止に貢献できる再生可能エネルギーの事業化を検討する新エネルギー推進委員会の答申を受け、公共施設を使った「太陽光発電屋根貸し事業」を行います。
日進市	市政報告事項	・市制２０周年記念事業について ・尾三地区自治体間連携協力について
	要旨	■平成６年１０月に市制施行し、平成２６年１０月で２０周年を迎える。さらなる発展に向けた飛躍の年と位置づけ、市民、事業者等多くの皆さんに、市の魅力を再発見していただき、今よりももっとこのまちを好きになってもらえるよう、様々な記念事業を企画している。 ■主な記念事業として、市制２０周年記念式典をはじめ、まちのイメージをデザインしたシンボルマークの公募、市内の商店等で使用できるプレミアム商品券の発行、三重県志摩市との友好自治体提携、健康都市宣言を行うことなどを予定している。 ■自治体間連携による行政の効率化や市民サービスの向上に取り組むため平成２６年１月に、みよし市、東郷町、豊明市と尾三地区自治体間連携協力に関する基本協定を締結した。この協定に基づき積極的に連携事業を進めていきたい。
田原市	市政報告事項	「日本一花を贈るまち」を目指す（事業費：４，０２１千円）
	要旨	「日本一の花の生産地から、日本一花を贈るまちへ」をスローガンに、花のまち田原市のイメージアップを図り、花を贈る行為の普及・啓発のための取り組みを行う。 ○「アニバーサリーフラワーギフト」 （田原市に婚姻届を提出し、市内に住む新婚夫婦に祝福の花を贈呈） ○「今月の渥美半島の花」普及啓発 ○「花を贈る日」普及啓発　・フラワーバレンタイン　２月１４日　・母の日５月第２日曜日 ・いい夫婦の日　１１月２２日 ○「ビクトリーブーケ」を各種大会に提供

清須市	市政報告事項	平成２６年度予算の主要施策について
	要旨	①河川・排水等の災害対策 ・新川流域都市化に伴う保水、遊水機能の維持、確保を計画的に推進 ・浸水被害の解消を図るため、ポンプ場及び雨水管渠を整備 ・地域防災力の向上を図るため、災害時の避難所運営等に率先して携わる人材を養成 ②公共施設の再編 ・庁舎再編に向けて、本庁舎の増築・改修の実施設計等を実施 併せて、本庁舎周辺の公共施設を整理 ・保育園・幼稚園の適正化を推進 ・新学校給食センターを９月から供用開始
北名古屋市	市政報告事項	北名古屋市平成２６年度重点施策について
	要旨	１　安全・安心なまちづくり ・　災害対策本部を兼ね備えた西庁舎分館整備事業 ・　２次救急医療体制強化のため済衆館病院における医療機器整備への支援 ・　道路橋りょう老朽化対策のため改良工事費を拡充 ※　小中学校体育館の吊り天井改修事業については、H25年度3月補正予算により前倒し対応 ２　子ども・子育て支援 ・乳児保育の充実（西之保保育園における乳児組を増設） ・共働き世帯などの支援のため児童クラブを新たに２か所増設（五条・鴨田） ３　教育の充実 ・土曜日の教育支援体制の構築に向け、小学校において英会話教育を実施 ・障害のある子どもや保護者に対する教育相談の充実のための特別支援コーディネーターの設置 ・正しい食生活の推進を図るため、スーパー食育スクール事業の実施（県内初）
弥富市	市政報告事項	弥富市ささえあいセンター事業
	要旨	ファミリーサポートセンター事業は、全国的に展開されている乳幼児等の預かり援助を受けることを希望する者と援助を行うことを希望する者との相互援助活動に関し、連絡、調整を行う事業ですが、「弥富市ささえあいセンター」事業は、要介護認定者及び要介護認定申請中又は障害を持つ人で生活の援助を受けたい者を利用会員とし、２０歳以上で心身ともに健康で積極的に援助を行いたい者を協力会員として、生活援助、介助、ゴミだし等のサービスの利用を希望する者と援助協力を希望する者との相互援助に関し、連絡、調整を行う事業です。
みよし市	市政報告事項	複合施設(仮称)みよし市図書館学習交流プラザ建設工事
	要旨	【事業概要】 市内生涯学習施設、文化施設の老朽化、耐震性能不足等の問題を解決するため、中央図書館、学習交流センター、勤労青少年ホームの機能を組み合わせた複合施設を建設する。 【施設概要】 鉄筋コンクリート造　地上３階地下１階 【経緯・予定】 平成２３年度：複合施設基本設計策定協議会、複合施設管理運営委員会(庁内検討組織)設置 平成２４年度：基本設計、パブリックコメント実施 平成２５年度：実施設計 平成２６～２７年度：建設工事 平成２８年度：供用開始